

家族の方から　※ご協力よろしくお願ひします。

家族の方が忙しい場合は、どのような話をしたか書いてみましょう。

お母さんが一握(いざな)ぎに残(のこ)している場面は、田川のおばあさんの手を両手で包みこみ、舞ちゃんのおばあちゃんが「あんたに看取られてきたと喜べやつたんよ」と話をしているところです。人の温かさを感じます。今のお母さんはこのお話を様(よう)人に人との温かいつよがりからうれしく思ひもれません。うなづくおばあちゃんと人々のやさしさから人はお互い教え合(わ)うと言ふように教え合(わ)うことを改めて学びました。

お地蔵さんが自由を守ってくれているように
おばあちゃんも町のみんなを見守ったくなり見守らねに
りしているのかと思いました。身近な人に無感心にな
ららず、つい時、困っている時、そそ寄り添って話を
聞ける關係を大切にしてほしいです。

素敵なお話をじがほっこりしました。

近所付き合いが薄れています中、また近所の人さえ信じられず、良い関係が築きにくい世の中になってしまっている中、やはり家族以外にも信頼できる人がいる、待ってくれている人がいるということは大事なことだと思いました。人の心に寄り添い、人と人とのつながりを大切にできる人になればいい(本になりました)など思いました。

今の時代ではありえない、からかい販売方法で商品を販売しました。
販売してるのは衣料だけじゃなく母と買ってくれた子供達の間には、
それ以外に「手紙を書くやうにして」「手紙を書いて心のからんせが何のまことにありますん
だ」といいました、大切なやりとりがまだと感じます。今この時代は、うまい人同士がたくさん
いるから、もう一度さわりをして友人同士との関係を見つめ直してみたりなど見つけました。
それ以外の。

人は、社会人生に於いて多くの人達と出合います。その中で、十人十色の人達が「考え方」「性格」
の違う人達と会い、話して行く中で、相手の事(事情)を知らず上り下り互いに相手の事を知らずとする
事が大切になります。自分だけが苦いのではなく、他の方達も大いに関係なく何故問題等を
抱えているのです。言葉に出す事なく、(或)お若い事で言葉を握りが居る事に感謝しますが、
ながらあります。これから的人生、多くの人達と出合、多くの事に直面し、解決する事の大切さを学んで欲しく